

4. 第六次羽村市長期総合計画 の策定に向けた分析

1 市民意見聴取の結果



第六次羽村市長期総合計画の策定に向け、羽村市民の現在の市政に対する意見や、将来のまちづくりに対する意見を把握するため、市政世論調査、転入者アンケート調査、市民ワークショップ（一般市民向け、子育て世代向け、若者世代向け）を行いました。

市政世論調査

（出典：令和2年度羽村市市政世論調査報告書 令和2年11月）

市政世論調査は、羽村市民の市政に対する意見・要望などを把握し、今後の市の取組みや施策に活かすことを目的に実施しました。

<調査概要>

- | | | | |
|------------|---|--------------|---------------------|
| (1) 調査期間 | : 令和2年8月24日～令和2年9月10日 | (3) 標本の抽出 | : 住民基本台帳から層化二段無作為抽出 |
| (2) 調査の対象者 | : 羽村市在住の満18歳以上の男女 1,200人
(令和2年8月1日基準日) | (4) 調査方法 | : 郵送配付・郵送回収 |
| | | (5) 有効回収数(率) | : 538票(44.8%) |

定住性と住みよさ

(1) 住みよさ

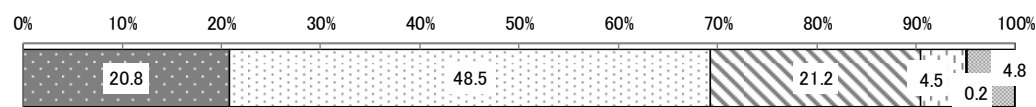
住みよさについて、「とても住みよい」および「まあ住みよい」<住みよい>の合計が69.3%、次いで「普通」が21.2%、「あまり住みよいとは思わない」および「非常に住みにくい」<住みにくい>の合計が4.7%となっています。

過去の調査と比較すると、<住みよい>は70%前後、<住みにくい>は5.0%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

● 性・年代別意見の傾向

- 女性30歳代で「とても住みよい」(37.1%)が全体より高くなっています。
- 居住年数で見ると、3年未満で「とても住みよい」(43.3%)が全体よりとても高くなっています。

図表 住みよさ (%) (n=538)



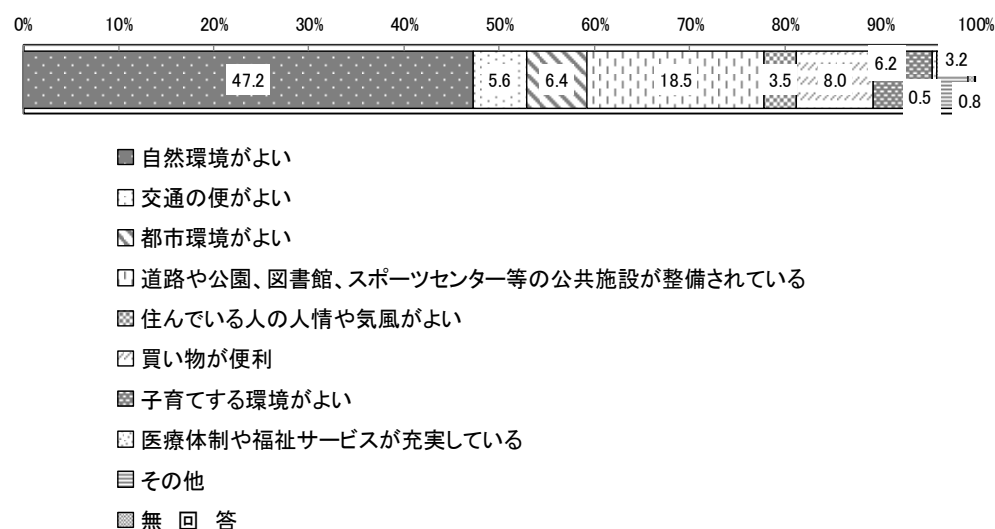
- とても住みよい □ まあ住みよい □ 普通
□ あまり住みよいとは思わない ■ 非常に住みにくい ■ 無回答

	とても住み よい	まあ住みよ い	普通	あまり住み よいとは思 わない	非常に 住みにくい
今回(R2)	20.8	48.5	21.2	4.5	0.2
前回(H27)	22.0	49.2	19.9	4.1	0.4
前々回(H22)	20.9	50.8	17.9	3.9	0.6

（２）住みよい理由

住みよい理由として、「とても住みよい」および「まあ住みよい」と回答した方では、「自然環境がよい」が47.2%、次いで「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている」（18.5%）、「買い物物が便利」（8.0%）が多くなっています。

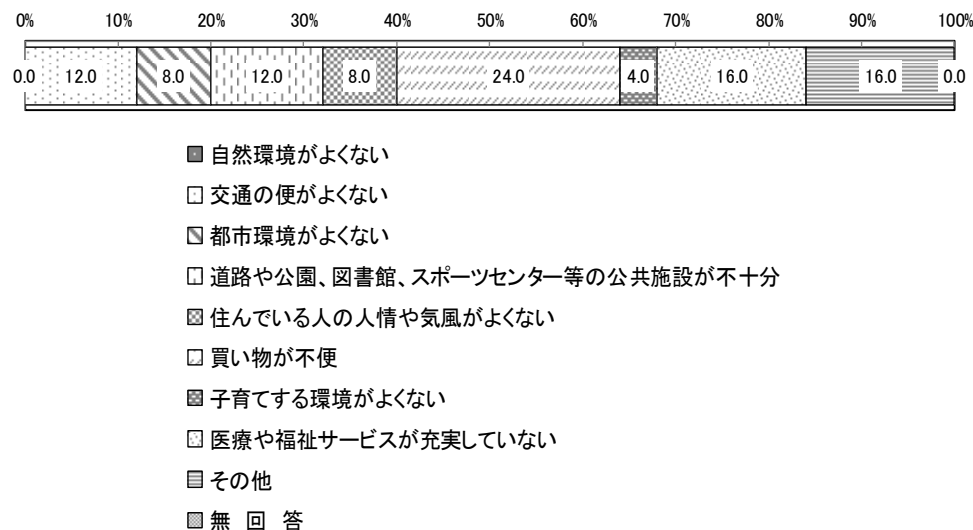
図表 住みよい理由（％）（n=373）



（３）住みにくい理由

住みにくい理由として、「あまり住みよいとは思わない」および「非常に住みにくい」と回答した方では、住みにくい理由として、「買い物物が不便」が24.0%、次いで「医療や福祉サービスが充実していない」（16.0%）、「交通の便がよくない」・「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が不十分」（12.0%）が多くなっています。

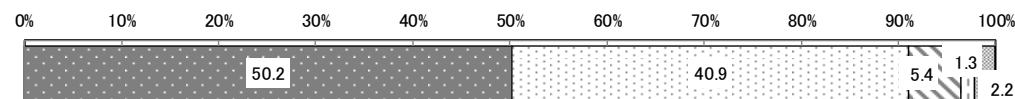
図表 住みにくい理由（％）（n=25）



(4) 定住意向

定住意向については、「ずっと住み続けたい」が50.2%、次いで「当分の間住みたい」(40.9%)、「できれば他の市区町村に転出したい」(5.4%)、「他の市区町村に転出する」(1.3%)となっています。

図表 定住意向 (%) (n=538)



●過去の調査との比較

- 「ずっと住み続けたい」は50%台、「当分の間住みたい」が30~40%程度、「できれば他の市区町村に転出したい」・「他の市区町村に転出する」は10%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

●性・年代別意見の傾向

- 女性60歳代(71.7%)、女性70歳以上(73.8%)で「ずっと住み続けたい」が全体よりとても高くなっています。
- 居住年数で見ると、5年以上10年未満で「当分の間住みたい」(64.8%)が全体よりとても高くなっています。

- ☒ ずっと住み続けたい
- ☒ 当分の間住みたい
- ☒ できれば他の市区町村に転出したい
- ☒ 他の市区町村に転出する
- ☒ 無回答

	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の市区町村に転出したい	他の市区町村に転出する
今回(R2)	50.2	40.9	5.4	1.3
前回(H27)	56.8	33.4	5.6	1.2
前々回(H22)	54.2	39.2	3.7	0.6

図表 <住みたい>理由、<転出したい>理由

<住みたい>理由	ずっと住み続けたい(件)	当分の間住みたい(件)
ずっと住んでいるから	51	12
程よく住みやすく、安心して暮らせる	49	26
緑、水など環境が良い	45	10
自宅があるから	39	20
地域の人間関係が良い	19	9
子育て環境が良い	14	9
公共施設・行政サービスなど生活する上で便利	9	2
動く理由がない	7	12
職場に近いから	1	19
住む場所を変えるのは大変	1	3
老後の生活のためにも将来は転出するかもしれない	0	15
将来羽村に在るかは分からない	0	13
親族の関係で将来は転出するかもしれない	0	13
多少不便を感じる	0	12
仕事の関係で将来は転出するかもしれない	0	8
その他	1	7

<転出したい>理由	できれば他の市区町村に転出したい(件)	他の市区町村に転出する(件)
もっと便利な所に住みたい	7	0
交通の便など生活しづらい	4	2
行政サービスに不満	4	0
将来羽村に在るかは分からない	2	2
地価が高くずっと住めない	2	0
活気がない	2	0
住みづらく感じている	1	1
環境が良くない	1	0
就職があるため	1	0
その他	1	1

羽村市の魅力・羽村らしさ

(1) 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事

魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事では、「羽村の堰」が58.4%、次いで「動物公園」(42.0%)、「花と水のまつり(さくらまつり、チューリップまつり)」(27.0%)となっています。

●過去の調査との比較(上位10項目)

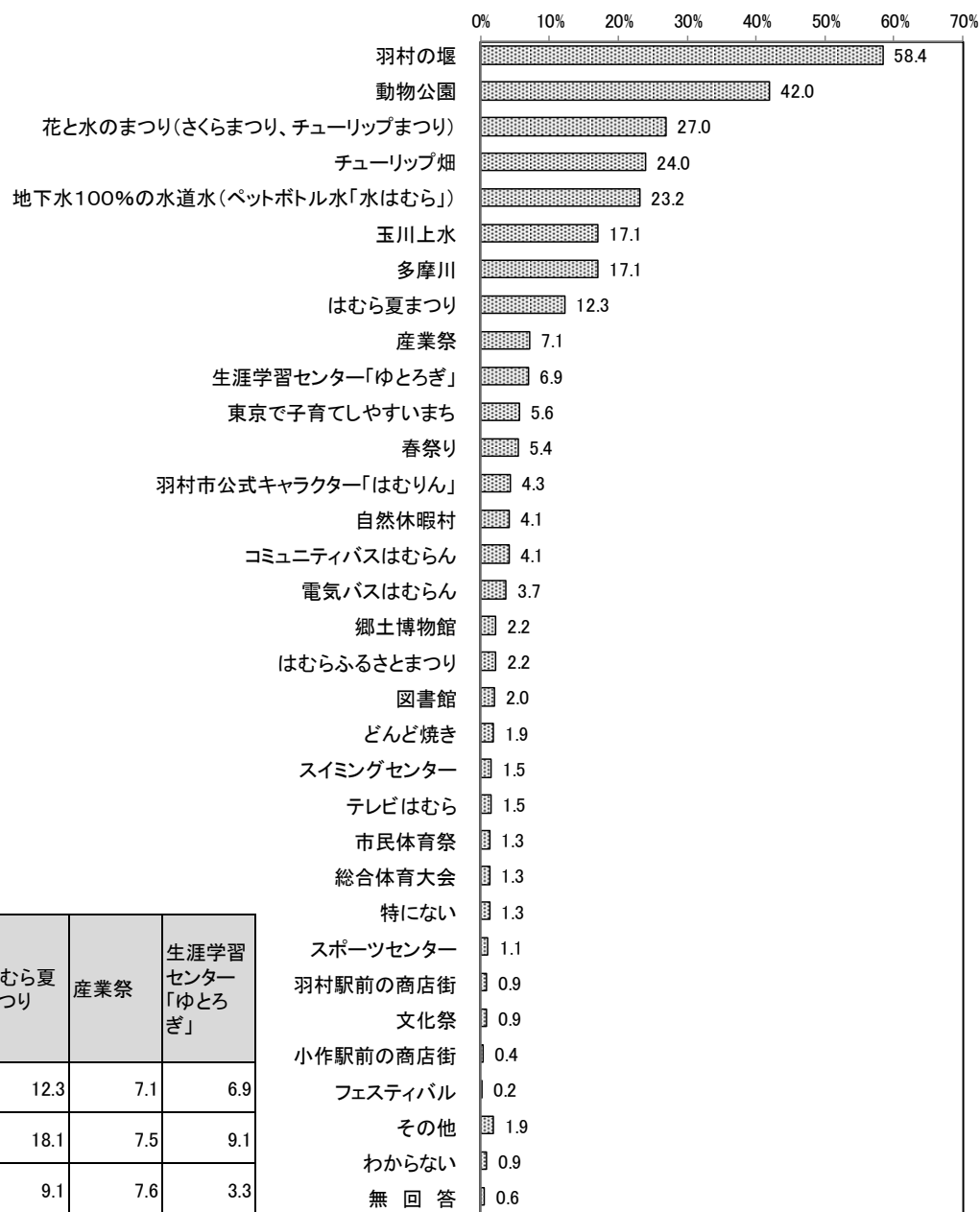
- 「羽村の堰」と「チューリップ畑」が前々回よりやや高くなっています。また「動物公園」が前々回よりとても高くなっています。

●性・年代別意見の傾向

- 男性50歳代で「羽村の堰」(87.1%)が全体よりとても高くなっています。

	羽村の堰	動物公園	花と水のまつり(さくらまつり、チューリップまつり)	チューリップ畑	地下水100%の水道水(ペットボトル水「水はむら」)	玉川上水	多摩川	はむら夏まつり	産業祭	生涯学習センター「ゆとろぎ」
今回(R2)	58.4	42.0	27.0	24.0	23.2	17.1	17.1	12.3	7.1	6.9
前回(H27)	57.9	40.3	27.0	19.7	22.6	20.7	19.9	18.1	7.5	9.1
前々回(H22)	48.1	18.9	31.3	9.4	15.2	18.3	10.0	9.1	7.6	3.3

図表 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事 (n=538) 複数回答



(2) 希望する将来の市のまちづくり

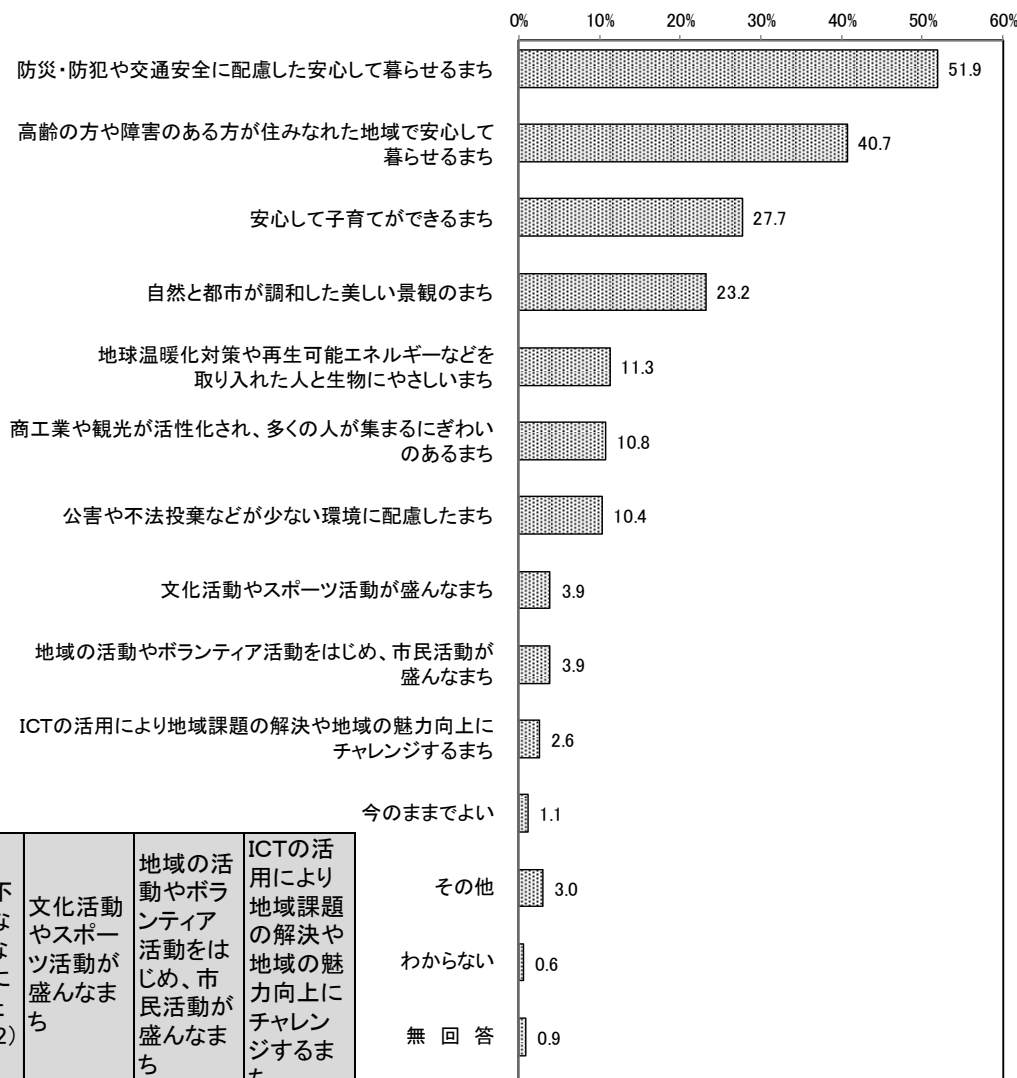
希望する将来の市のまちづくりでは、「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」が51.9%、次いで「高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」（40.7%）、「安心して子育てができるまち」（27.7%）となっています。

上位10項目について過去の調査と比較すると、いずれも大きな変化は見られません。

● 性・年代別意見の傾向

- 女性30歳代で「安心して子育てができるまち」（54.3%）がとて高くなっています。

図表 希望する将来の市のまちづくり（n=538）複数回答



	防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち	高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち	安心して子育てができるまち	自然と都市が調和した美しい景観のまち(※1)	地球温暖化対策や再生可能エネルギーなどを取り入れた人と生物にやさしいまち	商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち	公害や不法投棄などが少ない環境に配慮したまち(※2)	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち	地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち	ICTの活用により地域課題の解決や地域の魅力向上にチャレンジするまち
今回(R2)	51.9	40.7	27.7	23.2	11.3	10.8	10.4	3.9	3.9	2.6
前回(H27)	47.3	45.8	27.8	23.7	9.5	12.5	9.5	6.4	7.7	—
前々回(H22)	43.3	44.7	32.2	33.1	—	9.4	15.2	4.6	4.8	—

※1 前々回の選択肢は「緑豊かな美しい景観のまち」

※2 前々回の選択肢は「公害がなく、ごみ減量・リサイクル化が進んだ環境に配慮したまち」

市政への関心度

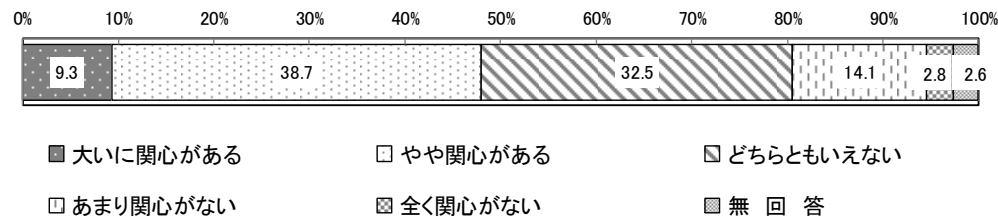
(1) 市政への関心度

市政への関心度は、＜関心がある＞（「大いに関心がある」および「やや関心がある」の合計）が48.0%、次いで「どちらともいえない」（32.5%）、＜関心がない＞（「あまり関心がない」および「全く関心がない」）の合計が16.9%となっています。

●過去の調査との比較

- ・＜関心がある＞の割合が、低くなっています。
- ・「どちらともいえない」がやや高くなっています。

図表 市政への関心度（%）（n=538）



	大いに関心 がある	やや関心が ある	どちらとも いえない	あまり関心 がない	全く関心が ない
今回(R2)	9.3	38.7	32.5	14.1	2.8
前回(H27)	18.5	39.8	23.4	14.1	2.3
前々回(H22)	18.1	40.3	20.9	15.5	3.5

図表 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組み（％）（n=538）複数回答

（２）力を入れてほしい、実施してもらいたい取組み

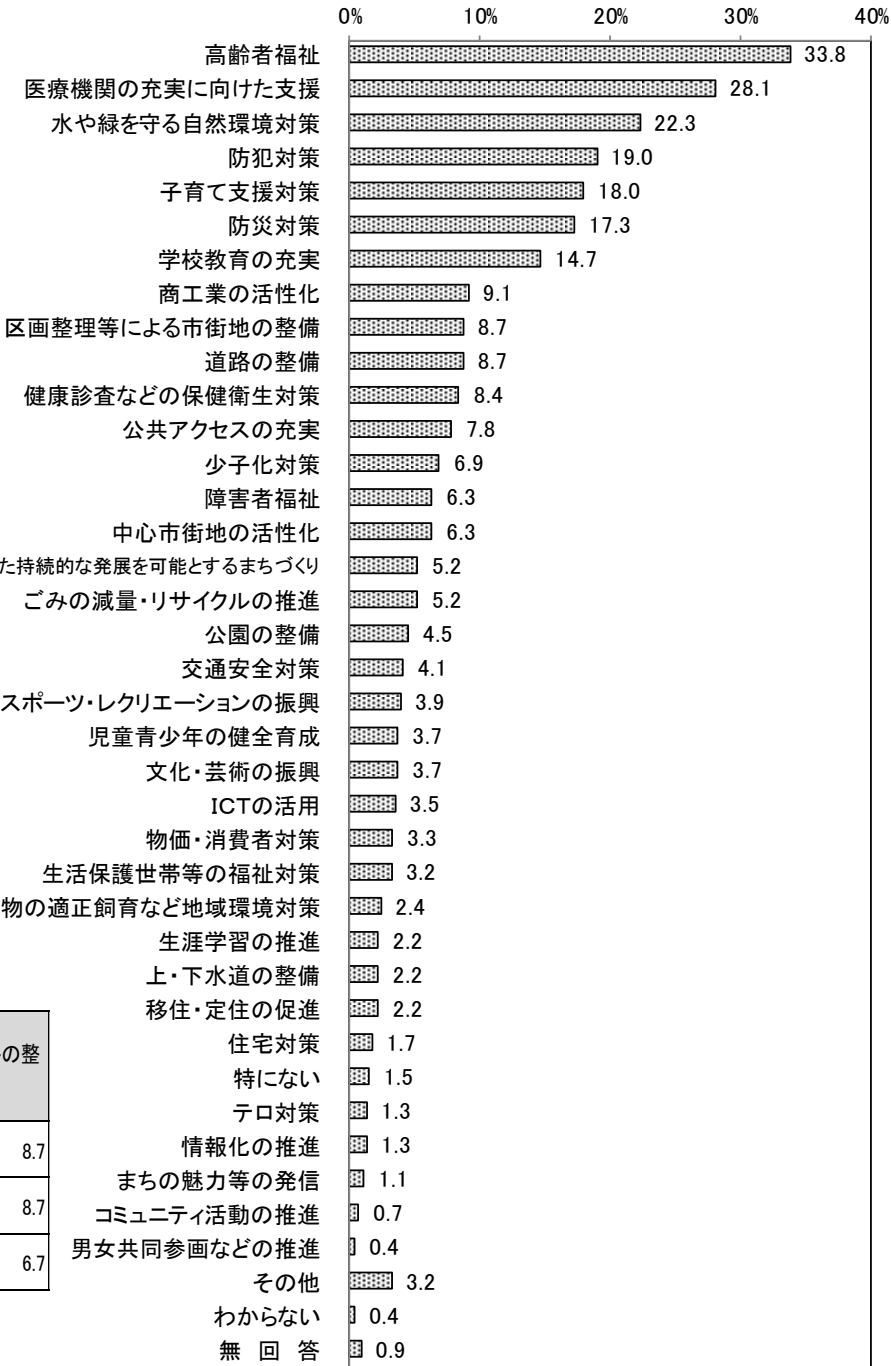
力を入れてほしい、実施してもらいたい取組みでは、高齢者福祉」が33.8%、次いで「医療機関の充実に向けた支援」（28.1%）、「水や緑を守る自然環境対策」（22.3%）となっています。

●過去の調査との比較（上位10項目）

- ・ 上位10項目について過去の調査と比較すると、「高齢者福祉」が前回よりやや低く、前々回より低くなっています。
- ・ 「防災対策」が前々回よりやや高くなっています。

●性・年代別意見の傾向

- ・ 女性30歳代で「子育て支援対策」（57.1%）、「学校教育の充実」（37.1%）が全体よりとて高くなっています。
- ・ 女性70歳以上で「高齢者福祉」（62.3%）が全体よりとて高くなっています。



	高齢者福祉（※1）	医療機関の充実に向けた支援	水や緑を守る自然環境対策（※2）	防犯対策	子育て支援対策	防災対策	学校教育の充実	商工業の活性化	区画整理等による市街地の整備	道路の整備
今回(R2)	33.8	28.1	22.3	19.0	18.0	17.3	14.7	9.1	8.7	8.7
前回(H27)	44.8	27.6	23.2	18.7	23.0	14.5	13.5	6.0	7.1	8.7
前々回(H22)	50.6	31.2	13.5	20.1	21.1	5.9	12.6	9.6	7.8	6.7

※1 前々回の選択肢は「高齢者対策」

※2 前々回の選択肢は「環境保全対策」

行財政改革

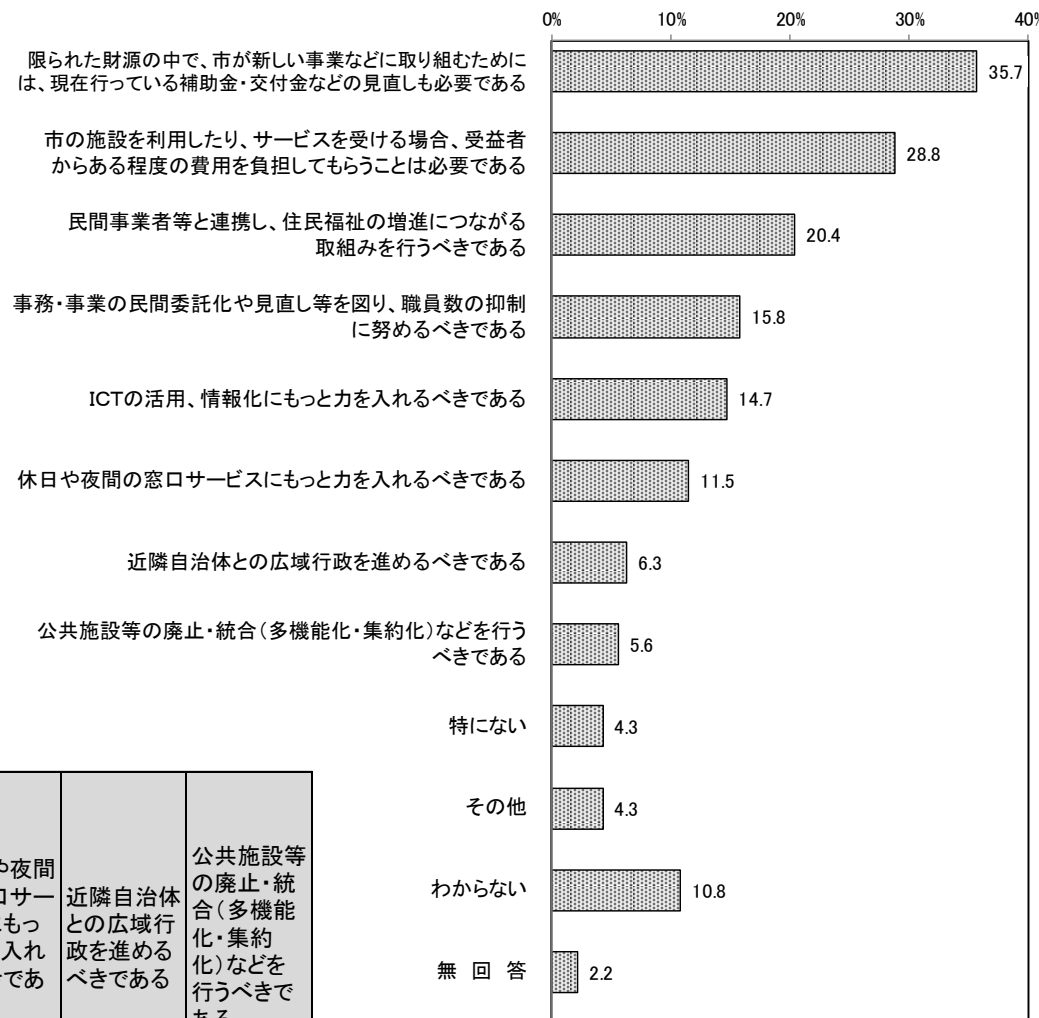
(1) 行財政改革に対する考え

行財政改革に対する考えとしては、「限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が35.7%、次いで「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」(28.8%)、「民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組を行うべきである」(20.4%)となっています。

●過去の調査との比較

- 「ICTの活用、情報化にもっと力を入れるべきである」が、前回、前々回より高くなっています。
- 「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が前々回より低くなっています。
- 「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである」が前回よりやや低く、前々回より低くなっています。

図表 行財政改革に対する考え(%) (n=538) 複数回答



	限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である	市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である	民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組を行うべきである	事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである	ICTの活用、情報化にもっと力を入れるべきである※	休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである	近隣自治体との広域行政を進めるべきである	公共施設等の廃止・統合(多機能化・集約化)などを行うべきである
今回(R2)	35.7	28.8	20.4	15.8	14.7	11.5	6.3	5.6
前回(H27)	43.2	29.0	—	27.8	6.0	16.2	13.9	—
前々回(H22)	51.4	29.4	—	34.9	5.2	18.5	10.9	—

※ 前回、前々回の選択肢は「OA化、情報化にもっと力を入れるべきである」

市政世論調査 市の取組みに対する満足度・重要度の比較（令和2年度、平成27年度）

（１）「【基本目標１】生涯を通じて学び育つまち」の満足度・重要度の比較（令和2年度、平成27年度）

「【基本目標１】生涯を通じて学び育つまち」における、満足度・重要度の市政世論調査（令和2年度、平成27年度）の結果を比較すると、満足度・重要度ともに、９項目中７項目が上昇しています。また、全体の平均では、満足度が0.06ポイント、重要度が0.03ポイント上昇する結果となりました。

＜主な傾向＞

- ・「子育て支援」の項目が、満足度では0.17ポイント、重要度が0.04ポイント上昇しており、ゾーニング分析の結果では、Aゾーン（重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策）からBゾーン（重要度、満足度ともに高く、今後更なる期待が求められる施策）となりました。
- ・「家庭教育・幼児教育の充実」および「小・中学校での教育活動や学習環境」の満足度が、いずれも0.1ポイント以上上昇しており、重要度も上昇しています。
- ・「青少年健全育成の取組み」は、満足度は上昇しているものの、重要度が下降しており、ゾーニング分析の結果では、Aゾーン（重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策）からCゾーン（重要度、満足度ともに低く、検討が必要な施策）となりました。

図表 【基本目標１】生涯を通じて学び育つまち 市政世論調査結果比較（令和2年度、平成27年度）

項目	①令和2年度 n=538			②平成27年度 n=518			差（①－②）・比較		
	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン
家庭教育・幼児教育の充実	2.77	3.40	A	2.65	3.38	A	↑ 0.12	↑ 0.02	同
小・中学校での教育活動や学習環境	2.80	3.52	A	2.70	3.49	A	↑ 0.10	↑ 0.03	同
子育て支援	2.96	3.65	B	2.79	3.61	A	↑ 0.17	↑ 0.04	A→B
青少年健全育成の取組み	2.81	3.18	C	2.74	3.24	A	↑ 0.07	↓ -0.06	A→C
生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	2.85	3.09	C	2.82	3.03	D	↑ 0.03	↑ 0.06	D→C
文化・芸術	2.87	2.97	C	2.83	2.86	D	↑ 0.04	↑ 0.11	D→C
スポーツ・レクリエーション活動	2.86	2.94	C	2.90	2.94	D	↓ -0.04	→ 0.00	D→C
生涯学習環境の整備	3.01	3.21	D	2.96	3.18	D	↑ 0.05	↑ 0.03	同
羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	2.93	3.10	D	2.94	3.03	D	↓ -0.01	↑ 0.07	同
基本目標１：全体平均	2.87	3.23	—	2.81	3.20	—	↑ 0.06	↑ 0.03	—
全９項目	＜満足度＞上昇７項目、下降２項目、維持０項目 ＜重要度＞上昇７項目、下降１項目、維持１項目								

資料 羽村市「令和2年度羽村市市政世論調査報告書」および「平成27年度羽村市市政世論調査報告書」から作成

(2) 「【基本目標2】安心して暮らせる支えあいのまち」の満足度・重要度の比較（令和2年度、平成27年度）

「【基本目標2】安心して暮らせる支えあいのまち」における、満足度・重要度の市政世論調査（令和2年度、平成27年度）の結果を比較すると、満足度では、10項目中8項目が上昇し、重要度では、6項目が上昇、4項目が下降しています。また、全体の平均では、満足度が0.07ポイント、重要度が0.01ポイント上昇する結果となりました。

＜主な傾向＞

- ・「高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取組み」では、満足度が0.11ポイント上昇したが、重要度は0.03ポイント下降しています。
- ・「介護サービスの情報提供や事業者支援」では、満足度が0.10ポイント、重要度が0.02ポイント上昇しており、ゾーニング分析では、Aゾーン（重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策）からBゾーン（重要度、満足度ともに高く、今後更なる期待が求められる施策）となりました。
- ・「後期高齢者医療制度のPR・相談」「国民年金制度のPR・相談」の満足度が0.1ポイント以上上昇しています。
- ・「国民年金制度のPR・相談」「小地域ネットワークなどの地域福祉」「市民の健康づくりの取組み」は、満足度は上昇もしくは同じとなっているものの、重要度はいずれも下降しています。

図表 「【基本目標2】安心して暮らせる支えあいのまち」市政世論調査結果比較（令和2年度、平成27年度）

項目	①全体（R2） n=538			②全体（H27） n=518			差（①－②）・比較		
	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン
保険税率の適正化や収納率向上	2.68	3.43	A	2.61	3.41	A	↑ 0.07	↑ 0.02	同
医療体制や福生病院の支援	2.65	3.54	A	2.65	3.46	A	→ 0.00	↑ 0.08	同
高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取組み	2.83	3.45	B	2.72	3.48	B	↑ 0.11	↓ -0.03	同
障害のある方が地域の中で安心して暮らせるための取組み	2.75	3.48	B	2.69	3.44	B	↑ 0.06	↑ 0.04	同
介護サービスの情報提供や事業者支援	2.75	3.42	B	2.65	3.40	A	↑ 0.10	↑ 0.02	A→B
後期高齢者医療制度のPR・相談	2.69	3.25	C	2.55	3.22	C	↑ 0.14	↑ 0.03	同
国民年金制度のPR・相談	2.63	3.22	C	2.49	3.25	C	↑ 0.14	↓ -0.03	同
小地域ネットワークなどの地域福祉	2.86	3.27	D	2.86	3.33	D	→ 0.00	↓ -0.06	同
生活保護世帯などへの支援など	2.75	3.18	D	2.69	3.12	D	↑ 0.06	↑ 0.06	同
市民の健康づくりの取組み	2.87	3.29	D	2.85	3.32	D	↑ 0.02	↓ -0.03	同
基本目標2：全体平均	2.75	3.35	—	2.68	3.34	—	↑ 0.07	↑ 0.01	—
全10項目	＜満足度＞ 上昇8項目、下降0項目、維持2項目 ＜重要度＞ 上昇6項目、下降4項目、維持0項目								

資料 羽村市「令和2年度羽村市市政世論調査報告書」および「平成27年度羽村市市政世論調査報告書」から作成

(3) 「【基本目標3】ふれあいと活力のあふれるまち」の満足度・重要度の比較（令和2年度、平成27年度）

「【基本目標3】ふれあいと活力のあふれるまち」における、満足度・重要度の市政世論調査（令和2年度、平成27年度）の結果を比較すると、満足度では、13項目中8項目が上昇し、重要度では、7項目が上昇、4項目が下降しています。また、全体の平均では、満足度が0.04ポイント上昇し、重要度は同ポイントとなりました。

<主な傾向>

- ・「防犯体制の充実」「雇用機会の創出」「消費者生活の向上を支援する取組み」の満足度が、いずれも0.1ポイント以上上昇しています。
- ・「横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保」は、満足度・重要度ともに下降しており、特に満足度が0.11ポイント下降しています。
- ・「各種団体への活動支援やコミュニティ施設の整備」の重要度について0.10ポイント下降し、基本目標3の項目の中では、最も大きい下降になりました。

図表 「【基本目標3】ふれあいと活力のあふれるまち」市政世論調査結果比較（令和2年度、平成27年度）

項目	①全体（R2） n=538			②全体（H27） n=518			差（①－②）・比較		
	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン
防犯体制の充実	2.64	3.63	A	2.52	3.61	A	↑ 0.12	↑ 0.02	同
横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保	2.11	3.44	A	2.22	3.48	A	↓ -0.11	↓ -0.04	同
商業環境づくり	2.52	3.27	A	2.46	3.27	A	↑ 0.06	→ 0.00	同
雇用機会の創出	2.59	3.27	A	2.47	3.27	A	↑ 0.12	→ 0.00	同
防災体制の整備・充実	2.70	3.61	B	2.71	3.57	B	↓ -0.01	↑ 0.04	同
交通安全対策	2.74	3.51	B	2.70	3.48	B	↑ 0.04	↑ 0.03	同
工業の振興策	2.74	3.14	D	2.74	3.10	D	→ 0.00	↑ 0.04	同
農業の振興と農地の保全	2.76	3.20	D	2.70	3.17	D	↑ 0.06	↑ 0.03	同
観光事業の活性化	2.68	2.95	D	2.63	2.93	D	↑ 0.05	↑ 0.02	同
消費者生活の向上を支援する取組み	2.72	3.08	D	2.62	3.02	D	↑ 0.10	↑ 0.06	同
各種団体への活動支援やコミュニティ施設整備	2.78	2.97	D	2.78	3.07	D	→ 0.00	↓ -0.10	同
共生社会を推進していく取組み	2.76	2.98	D	2.72	3.03	D	↑ 0.04	↓ -0.05	同
国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	2.69	2.94	D	2.69	2.96	D	→ 0.00	↓ -0.02	同
基本目標3：全体平均	2.65	3.23	—	2.61	3.23	—	↑ 0.04	→ 0.00	—
全13項目	<満足度> 上昇8項目、下降2項目、維持3項目 <重要度> 上昇7項目、下降4項目、維持2項目								

資料 羽村市「令和2年度羽村市市政世論調査報告書」および「平成27年度羽村市市政世論調査報告書」から作成

(4) 「【基本目標4】ひとと環境にやさしい安全で快適なまち」の満足度・重要度の比較（令和2年度、平成27年度）

「【基本目標4】ひとと環境にやさしい安全で快適なまち」における、満足度・重要度の市政世論調査（令和2年度、平成27年度）の結果を比較すると、満足度では、12項目中5項目が上昇し、5項目が下降しました。重要度では、8項目が上昇し、4項目が下降しています。また、全体の平均では、満足度が0.01ポイント上昇し、重要度は同ポイントとなりました。

<主な傾向>

- ・「市街地整備の推進」「循環型社会の構築」の満足度は、いずれも0.05ポイント以上下降しており、「市街地整備の推進」の重要度は上昇し、「循環型社会の構築」の重要度は下降しています。
- ・「良好な住環境を作るための取組み」の項目が満足度・重要度ともに0.1ポイント以上上昇しており、ゾーニング分析の結果では、Cゾーン（重要度、満足度ともに低く、検討が必要な施策）から、Dゾーン（重要度は低い、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策）となりました。
- ・「市内の公園」については、満足度・重要度ともに下降しており、特に重要度が0.21ポイント下降しました。

図表 「【基本目標4】ひとと環境にやさしい安全で快適なまち」市政世論調査結果比較（令和2年度、平成27年度）

項目	①全体（R2） n=538			②全体（H27） n=518			差（①－②）・比較		
	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン
都市環境の向上	2.76	3.41	A	2.77	3.39	A	↓ -0.01	↑ 0.02	同
市街地整備の推進	2.40	3.31	A	2.45	3.29	A	↓ -0.05	↑ 0.02	同
道路の整備状況	2.50	3.34	A	2.53	3.37	A	↓ -0.03	↓ -0.03	同
広域交通や市内の交通網の充実	2.70	3.33	A	2.66	3.31	A	↑ 0.04	↑ 0.02	同
自然環境の保全	3.11	3.54	B	3.07	3.52	B	↑ 0.04	↑ 0.02	同
循環型社会の構築	2.94	3.47	B	3.00	3.50	B	↓ -0.06	↓ -0.03	同
市独自の水道事業	3.25	3.47	B	3.25	3.46	B	→ 0.00	↑ 0.01	同
公共下水道の整備	3.00	3.44	B	3.00	3.41	B	→ 0.00	↑ 0.03	同
魅力あふれる都市景観	2.63	2.89	C	2.61	2.96	C	↑ 0.02	↓ -0.07	同
地域特性のあった土地利用	2.54	3.06	C	2.52	2.98	C	↑ 0.02	↑ 0.08	同
良好な住環境を作るための取組み	2.93	3.21	D	2.75	3.05	C	↑ 0.18	↑ 0.16	C→D
市内の公園	2.80	3.00	D	2.87	3.21	D	↓ -0.07	↓ -0.21	同
基本目標4：全体平均	2.80	3.29	—	2.79	3.29	—	↑ 0.01	→ 0.00	—
全12項目	<満足度> 上昇5項目、下降5項目、維持2項目 <重要度> 上昇8項目、下降4項目、維持0項目								

資料 羽村市「令和2年度羽村市市政世論調査報告書」および「平成27年度羽村市市政世論調査報告書」から作成

(5) 「基本構想を推進するために」の満足度・重要度の比較（令和2年度、平成27年度）

「基本構想を推進するために」における、満足度・重要度の市政世論調査（令和2年度、平成27年度）の結果を比較すると、満足度では、6項目中4項目が上昇し、重要度では、5項目が下降しています。また、全体の平均では、満足度が0.02ポイント上昇し、重要度は0.04ポイント下降する結果となりました。

<主な傾向>

- ・ 重要度は、「財源の安定的確保と合理的・効果的な財政運営」を除くすべての項目で下降しており、特に、「市民と行政が連携したまちづくり」と「広聴活動」では、0.1ポイント以上下降しました。
- ・ 「効率的な行政運営」は、満足度・重要度ともに下降しており、ゾーニング分析の結果では、Dゾーン（重要度は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策）からCゾーン（重要度、満足度ともに低く、検討が必要な施策）となりました。
- ・ 「市民と行政が連携したまちづくり」は、満足度は上昇しており、ゾーニング分析の結果では、Cゾーン（重要度、満足度ともに低く、検討が必要な施策）から、Dゾーン（重要度は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策）となりました。

図表 「基本構想を推進するために」市政世論調査結果比較（令和2年度、平成27年度）

項目	①全体（R2） n=538			②全体（H27） n=518			差（①－②）・比較		
	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン	満足度	重要度	ゾーン
行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	2.66	3.37	A	2.60	3.38	A	↑ 0.06	↓ -0.01	同
財源の安定的確保と合理的・効果的な財政運営	2.55	3.50	A	2.61	3.45	A	↓ -0.06	↑ 0.05	同
職員の窓口対応	2.91	3.34	B	2.88	3.38	B	↑ 0.03	↓ -0.04	同
効率的な行政運営	2.73	3.18	C	2.75	3.20	D	↓ -0.02	↓ -0.02	D→C
市民と行政が連携したまちづくり	2.74	3.06	D	2.67	3.16	C	↑ 0.07	↓ -0.10	C→D
広聴活動	2.80	3.11	D	2.74	3.23	D	↑ 0.06	↓ -0.12	同
基本構想を推進するために：全体平均	2.73	3.26	—	2.71	3.30	—	↑ 0.02	↓ -0.04	—
全6項目	<満足度> 上昇4項目、下降2項目、維持0項目 <重要度> 上昇1項目、下降5項目、維持0項目								

資料 羽村市「令和2年度羽村市市政世論調査報告書」および「平成27年度羽村市市政世論調査報告書」から作成

(6) 全項目の平均

全ての項目では、満足度および重要度の平均ポイントは、満足度が2.76ポイント、重要度が3.27ポイントとなりました。

また、平成27年度と比較して、全50項目中、満足度が32項目上昇し、11項目が下降した。また、重要度は、29項目が上昇し、18項目が下降しました。

図表 全項目の比較

項目	①全体（R2） n=538			<満足度> 上昇32項目、下降11項目、維持7項目 <重要度> 上昇29項目、下降18項目、維持3項目
	満足度	重要度	ゾーン	
設問全体(全50項目)	2.76	3.27	—	

資料 羽村市「令和2年度羽村市市政世論調査報告書」および「平成27年度羽村市市政世論調査報告書」から作成

転入者アンケート調査

(出典：令和2年度羽村市転入者アンケート調査報告書 令和2年11月)

転入者アンケートは、新たに羽村市に転入された市民の意識や意見等を把握し、今後の市の取組みや施策に活かすことを目的に実施しました。

<調査概要>

- (1) 調査期間 : 令和2年8月24日～令和2年9月10日
 (2) 調査の対象者 : 羽村市へ転入して原則1年以内の男女
 1,000人(令和2年8月1日基準日)

- (3) 標本の抽出 : 住民基本台帳から層化二段無作為抽出
 (4) 調査方法 : 郵送配付・郵送回収
 (5) 有効回収数(率) : 【有効回収数:369票】(回収数372票)
 【有効回収率:36.9%】(回収率37.2%)

羽村市を選んだ理由

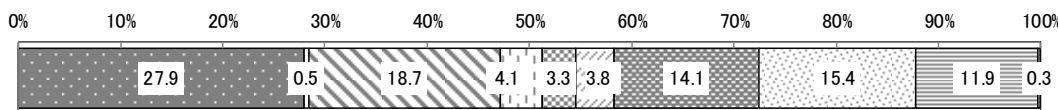
(1) 羽村市に転入するきっかけ

羽村市に転入するきっかけでは、「仕事の都合(就職・転職・転勤・定年退職・通勤の利便性)」が27.9%、次いで「住宅の都合(広さ・間取り・設備・家賃・借家契約の更新・持ち家の購入等)」(18.7%)、「結婚・離婚等」(15.4%)となっています。

● 性・年代別意見の傾向

- 男性20歳代で「仕事の都合(就職・転職・転勤・定年退職・通勤の利便性)」(52.6%)が全体よりとても高くなっています。
- 女性40歳代で「住宅の都合(広さ・間取り・設備・家賃・借家契約の更新・持ち家の購入等)」(35.5%)が全体より高くなっています。

図表 羽村市に転入するきっかけ(%) (n=369)



- 仕事の都合(就職・転職・転勤・定年退職・通勤の利便性)
- 学業の都合(入学・進学・転校・通学の利便性)
- ▣ 住宅の都合(広さ・間取り・設備・家賃・借家契約の更新・持ち家の購入等)
- ▤ 健康の都合(通院・病気療養等)
- ▥ 子育ての都合(子育て支援サービス、子育て環境に適している等)
- ▧ 生活環境の都合(買い物環境の利便性、治安の関係等)
- ▨ 親や子どもとの同居・近居(親の介護、子育て支援等)
- ▩ 結婚・離婚等
- その他
- 無回答

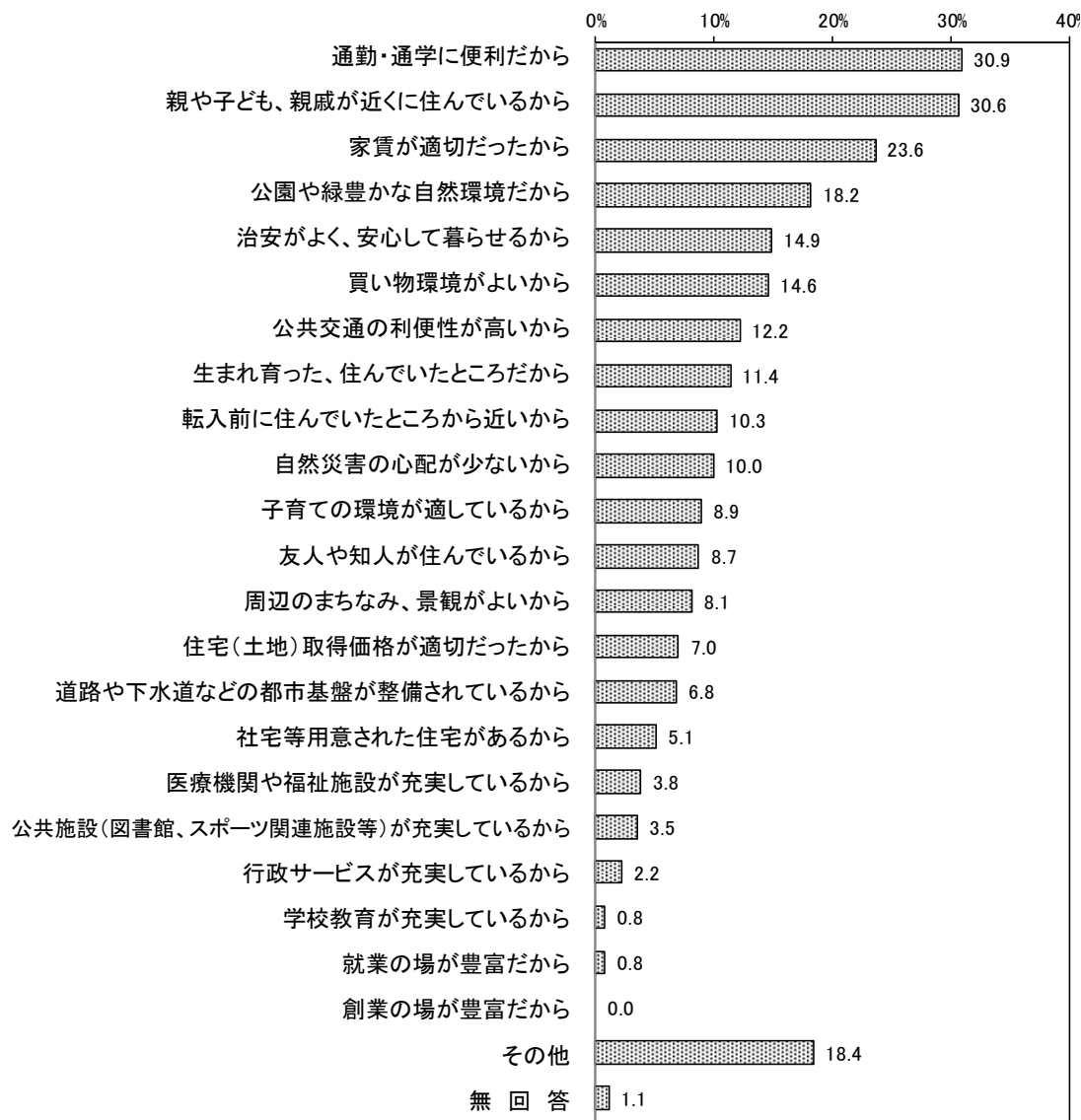
(2) 転入先として羽村市内の居住地を選んだ理由

転入先として羽村市内の居住地を選んだ理由では、「通勤・通学に便利だから」が30.9%、次いで「親や子ども、親戚が近くに住んでいるから」(30.6%)、「家賃が適切だったから」(23.6%)となっています。

● 性・年代別意見の傾向

- 男性30歳代で「子育ての環境が適しているから」(31.3%)が全体よりとても高くなっています。
- 女性20歳代で「生まれ育った、住んでいたところだから」(22.9%)、女性30歳代で「子育ての環境が適しているから」(20.3%)、女性60歳代で「自然災害の心配が少ないから」(24.0%)が、いずれも全体よりやや高くなっています。
- 女性70歳以上で「親や子ども、親戚が近くに住んでいるから」(50.0%)が全体より高くなっています。

図表 転入先として羽村市内の居住地を選んだ理由(%) (n=369) 複数回答



（３）転入先候補地

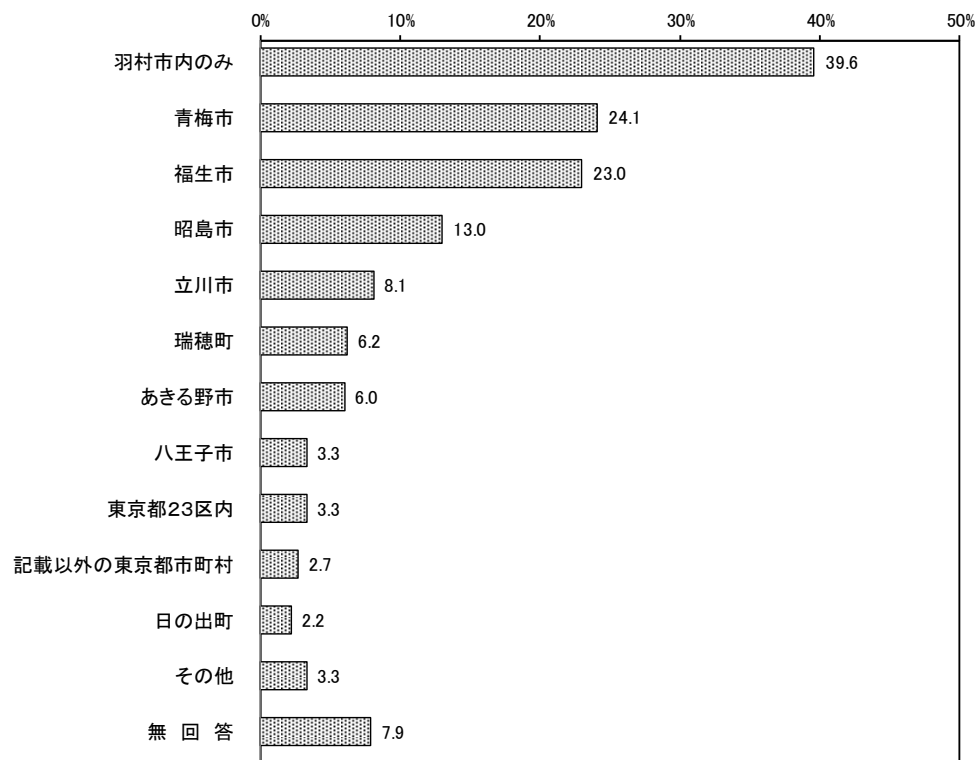
転入先候補地では、「羽村市内のみ」が39.6%と最も多く、次いで「青梅市」（24.1%）、「福生市」（23.0%）と羽村市の近隣市が多くなっています。

青梅市、福生市を転入先の候補としながらも、羽村市を選んだ主な理由は、以下のとおりです。

＜羽村市を選んだ主な理由＞

- ・水道代や家賃などが良かった。
- ・一番会社に近かった。
- ・静かで通勤しやすかった。
- ・他地域の物件と比較し、住環境がよかった。
- ・夫婦ともに、お互いの実家からの距離が同じくらいだった。
- ・実家の近くだった。
- ・売っていた土地周辺の環境が気に入った。
- ・良い物件が羽村市にちょうど良く見つかった。
- ・職場から近く、良い家賃のアパートを見つけたから。
- ・水道料金が安い。
- ・お水がとてもおいしい。
- ・買い物が便利。
- ・近くに必要とするお店が多い。
- ・電車の本数が多い。

図表 転入先候補地（％）（n=369）複数回答



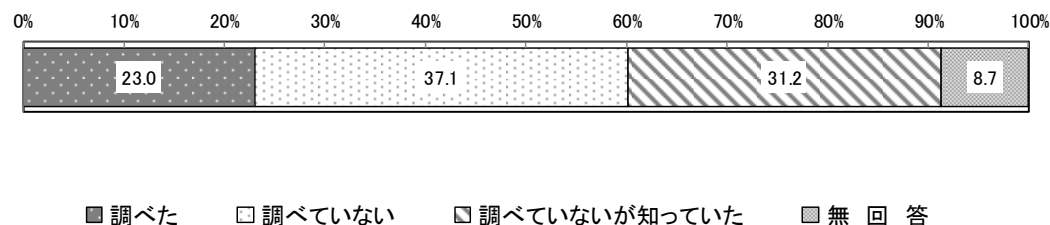
（４）転入する際の情報収集

転入する際の情報収集については、「調べていない」が37.1%、次いで「調べていないが知っていた」が31.2%、「調べた」（23.0%）となっています。

● 性・年代別意見の傾向

- ・男性20歳代で「調べていない」（57.9%）が全体よりとても高くなっています。
- ・女性30歳代で「調べた」（39.2%）が全体より高くなっています。

図表 転入する際の情報収集（％）（n=369）

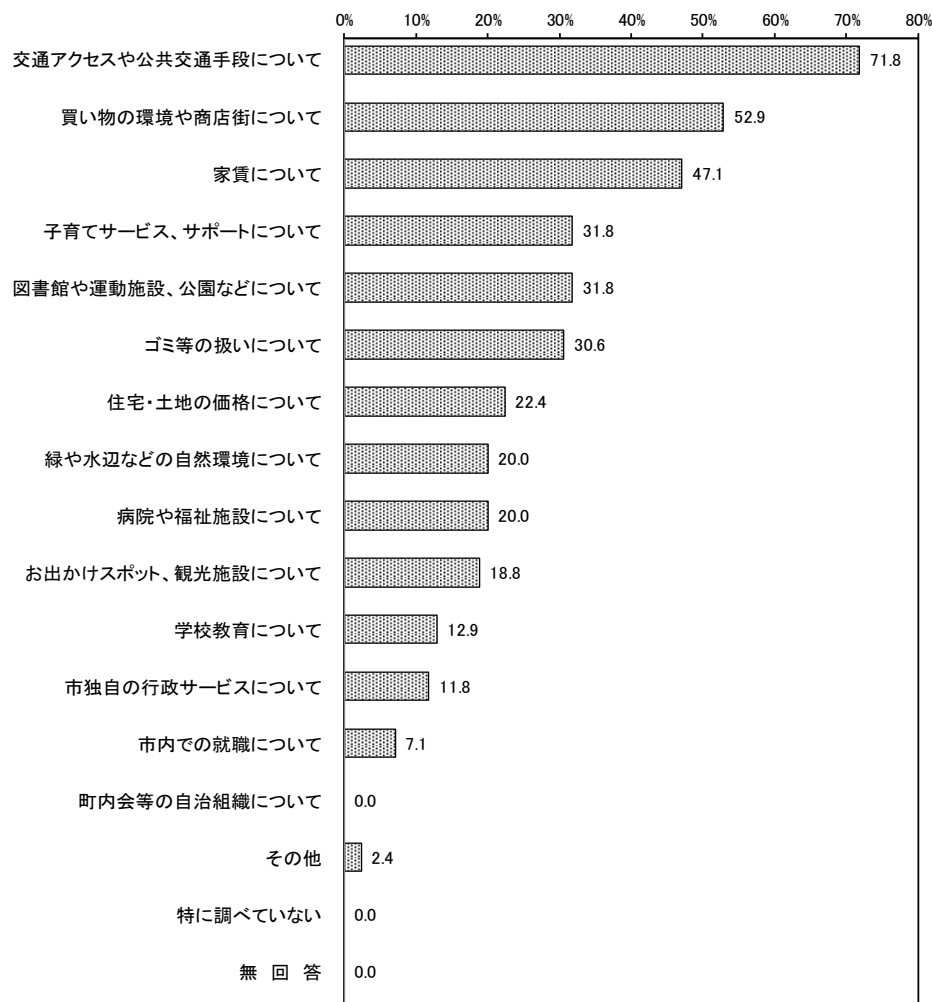


■ 調べた □ 調べていない ▨ 調べていないが知っていた ■ 無回答

(5) 情報収集内容・情報収集手段

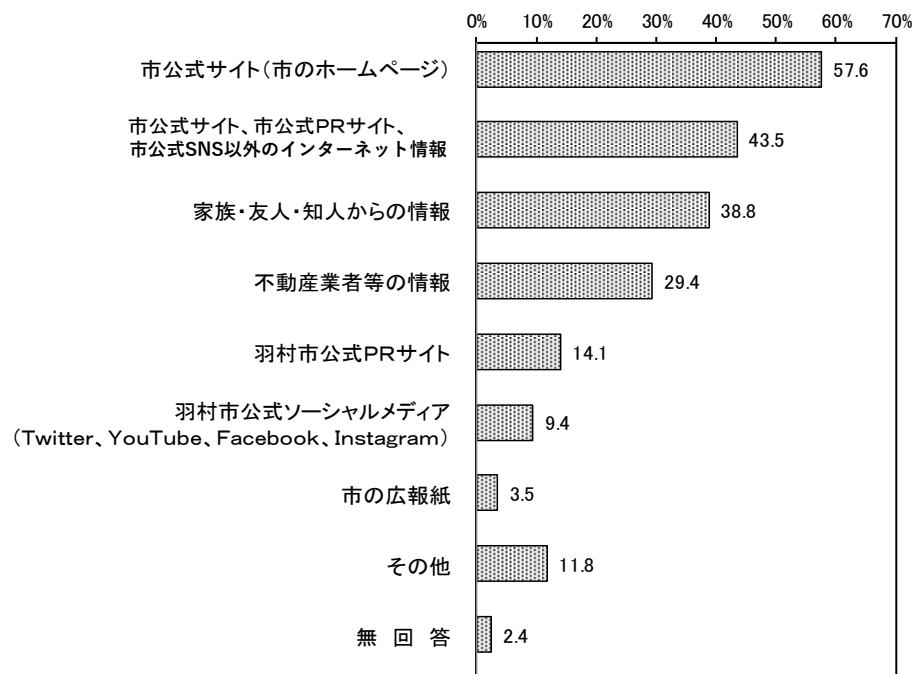
情報収集内容については、「交通アクセスや公共交通手段について」が71.8%と最も多く、次いで「買い物の環境や商店街について」(52.9%)、「家賃について」(47.1%)となっています。

図表 転入する際の情報収集内容 (%) (n=85) 複数回答



情報収集手段では、「市公式サイト（市のホームページ）」が57.6%と最も多く、次いで「市公式サイト、市公式PRサイト、市公式SNS以外のインターネット情報」(43.5%)、「家族・友人・知人からの情報」(38.8%)となっています。

図表 転入する際の情報収集手段 (%) (n=85) 複数回答



今後について

(1) 羽村市に暮らす前と比較して羽村市をどのように感じているか

羽村市に暮らす前と比較して羽村市をどのように感じているかについては、「街中の自然（公園、農地等）が豊かである」が47.4%と最も多く、次いで「買い物が便利である」（32.8%）、「安全・安心に暮らせる」（25.7%）となっています。

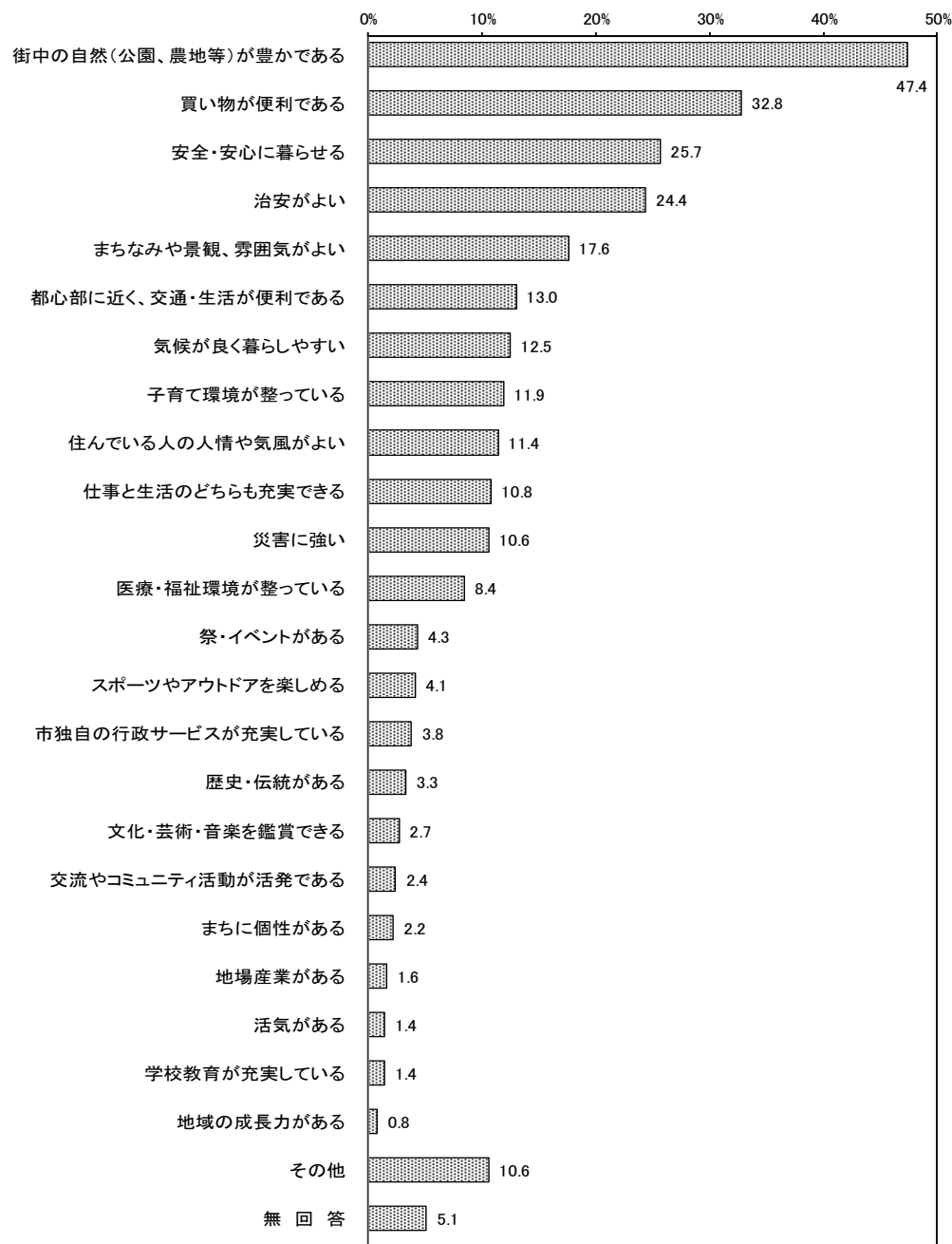
● 性・年代別意見の傾向

- ・ 男性30歳代で「治安がよい」（50.0%）が全体よりとても高くなっています。
- ・ 女性30歳代で「子育て環境が整っている」（23.0%）が全体よりやや高くなっています。

● 転入先別意見の傾向

- ・ 栄町で「買い物が便利である」（48.8%）が全体より高くなっています。
- ・ 羽加美で「街中の自然（公園、農地等）が豊かである」（68.0%）が全体よりとても高くなっています。
- ・ 川崎で「治安がよい」（47.4%）と「安全・安心に暮らせる」（47.4%）が全体よりとても高くなっています。

図表 羽村市に暮らす前と比較して羽村市をどのように感じているか（%）（n=369）複数回答



(2) 羽村市のまちづくりに期待すること

羽村市のまちづくりに期待することについては、「子育てしやすいまちづくり」が37.7%と最も多く、次いで「犯罪や交通事故防止など安全性の確保」(36.6%)、「公園や水辺などのうるおいある環境づくり」(33.6%)となっています。

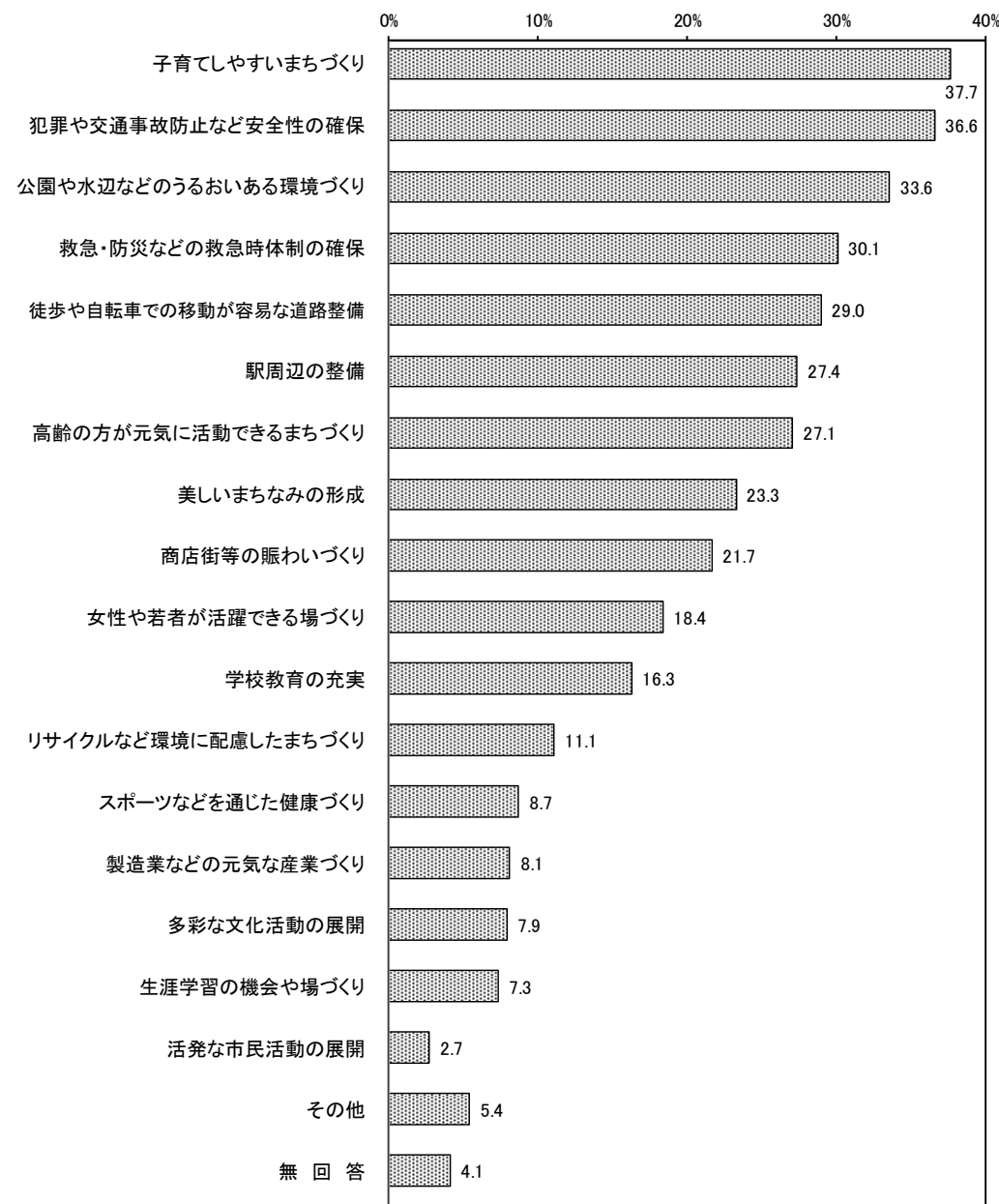
● 性・年代別意見の傾向

- ・ 女性20歳代で「子育てしやすいまちづくり」(54.3%)が全体より高くなっています。
- ・ 女性30歳代で「子育てしやすいまちづくり」(64.9%)が全体よりとても高くなっています。
- ・ 女性60歳代(60.0%)と女性70歳以上(60.4%)で「高齢の方が元気に活動できるまちづくり」が全体よりとても高くなっています。

● 転入先別意見の傾向

- ・ 栄町で「駅周辺の整備」(41.9%)と「徒歩や自転車での移動が容易な道路整備」(41.9%)が全体よりやや高くなっています。
- ・ 羽加美で「救急・防災などの救急時体制の確保」(8.0%)が全体よりとても低くなっています。
- ・ 羽中で「徒歩や自転車での移動が容易な道路整備」(47.4%)が全体より高くなっています。
- ・ 川崎で「公園や水辺などのうるおいある環境づくり」(52.6%)が全体より高くなっています。

図表 羽村市のまちづくりに期待すること (%) (n=369) 複数回答



（３）暮らしやすさと羽村市への移住お勧め度

暮らしやすさ（０点～１０点）について、全体の平均点は「7.01点」となっています。

羽村市への移住お勧め度（０点～１０点）について、全体の平均点は「6.29点」となっています。主な理由については、右記のとおりです。

＜羽村市への移住をお勧め度の理由＞

■ 10～9点を選択した方の主な意見

- ・自然豊かで公園もたくさんあり、子育てしやすい
- ・買い物が便利。
- ・水がとてもおいしい。
- ・動物公園が市内にある。
- ・子育てに力を注いでくれる。
- ・ベビーカーで入店できるお店が多い。
- ・穏やかに生活できそう。
- ・住環境が良い。
- ・都心部より、静かで生活しやすい環境が整っている。
- ・保育園、学校の教育が良い。
- ・人が穏やかで良い人が多い。

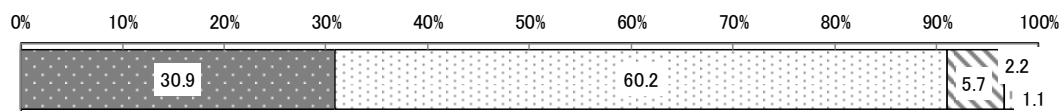
■ 2～0点を選択した方の主な意見

- ・都心までの交通が不便。
- ・街灯が少なく、道路や公園が怖い。
- ・駅周辺が不便。
- ・車の免許がないと、移動が不便。
- ・電車や飛行機がうるさい。
- ・市役所の対応が悪い

（４）定住意向

定住の意向については、「当分の間住みたい」が60.2%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」（30.9%）、「できれば他の市区町村に転出したい」（5.7%）となっています。

図表 定住意向（％）（n=369）



■ ずっと住み続けたい

□ 当分の間住みたい

▨ できれば他の市区町村に転出したい

▩ 他の市区町村に転出する

■ 無 回 答

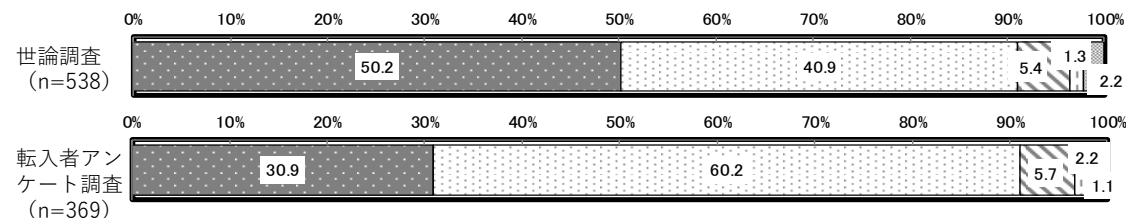
市政世論調査と転入者アンケート調査における、定住意向の比較

定住意向について、市政世論調査では、「ずっと住み続けたい」が50.2%と最も多く、転入者アンケート調査では、「当分の間住みたい」が60.2%と最も多くなりました。

「ずっと住み続けたい」および「当分の間住みたい」と答えた割合の合計は、市政世論調査では91.1%、転入者アンケート調査では91.1%と、いずれも同じ割合になりました。

「できれば他の市区町村に転出したい」および「他の市町村に転出する」と答えた割合の合計は、市政世論調査では6.7%、転入者アンケート調査では7.9%と、いずれも10%以下となりました。

図表 定住意向の比較（％）



■ ずっと住み続けたい

□ 当分の間住みたい

▨ できれば他の市区町村に転出したい

▩ 他の市区町村に転出する

■ 無 回 答

